



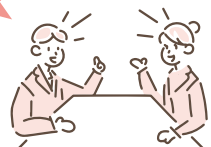
豊中市市民活動サポート事業

豊中市の市民公益活動団体情報に登録している団体は、活動のPRを目的として市民公益活動支援センターにて、講座やイベントを実施することができます。はじめてイベントや講座を実施する団体も計画から広報、終了後のふりかえりまでスタッフに相談しながら進めていただけます。豊中市内の公共施設へのチラシ配架や、広報とよなか(年に数回程度)、市のホームページ、市民公益活動支援センターのSNSなどを使った広報などのサポートもしています。自分たちの活動を広める機会としてぜひご利用ください。申込みは半期に一度ですが、利用がない日は期の途中でも随時受け付けています。

トヨカツ Newsletter

主な事業紹介

どなたでも



ちゃぶだい集会

日ごろ起る疑問や課題解決に向けたヒントなどをみんなで持ち寄り、わいわいと語り合う集いです。



トヨカツcinema

多様化する地域課題・社会課題について、映画をきっかけに知り、語り合う場です。昼の部、夜の部の2回上映。



ボランティア入門講座

これからボランティアを始める方、興味のある方に向けて、ボランティアの心得、活動続けるコツや事例を紹介します。

これらのイベントに参加いただくとマチカネポイントが貯まります！

団体向け



おでかけ相談会

トヨカツを飛び出し、豊中市内各所にて団体運営に関する相談会を開催しています。



ピンポイント講座

会計や広報など、市民活動を行う上で役立つ情報を講座・セミナー形式でご紹介します。



マッチング交流会

公共施設で働く人と「協働」したい団体をつなぐ交流会です。市内各所で随時開催。



オンラインサポート

PCやアプリの使い方からSNS等の運用相談まで、市民活動のお手伝いをしています。

豊中市立市民公益活動支援センター

住所：豊中市庄内幸町4-29-1(庄内コラボセンター1階) [開館時間]午前10時から午後7時まで
(阪急宝塚線・庄内駅より約800m) (水曜・金曜は午後9時まで)

TEL : 06-6398-9189

FAX : 06-6398-9209

MAIL : toyonaka.npo@jcom.zaq.ne.jp



トヨカツのSNSもぜひチェックしてみてください！



トヨカツフェスタを開催しました



当日は、1000人を超える来場者で大いににぎわいました。

今回は、団体のポスター発表とワークショップに加え、ユースセッションも同時に開催しました。

ワークショップでは、思い思いにキーホルダーやキャンドルの製作の他、ネパール・サクー村支援の会のブースでは、現地の支援につながるダカ織りの販売もあり、手にとってじっくり選ばれている市民の方の姿が多くみられました。

ユースセッションでは、高校生や大学生などユース世代の発表があり、環境・防災・まちづくりなど計20団体がポスター展示や口頭で発表をしました。高校生ボランティアは20名近く参加があり、準備から各コーナーのお手伝い、片付けまで大活躍でした。団体のポスターは、フェスタ終了後もトヨカツ内で展示しています。お越しの際はご覧ください。



GROUP

団体紹介

市民公益活動支援センター「トヨカツ」を利用する団体を紹介し、サポート事業を実施している団体もありますので、ぜひご覧ください。

団体のデータベースはこちらから



団体HP



医療法人豊済会 サポートセンターる〜ぽ／さつき

私たちは、平成8年に社会復帰施設「地域生活支援センターる〜ぽ」として歩みをはじめました。まだまだ地域に精神障害者の方の生活を支える社会資源が乏しく、精神科病院に長期入院を余儀なくされる方も多い時代でした。

私たちは、病気や障害があっても地域で自分らしい生活、希望に沿った生活を営むことができるよう、様々な相談に応じています。仲間との繋がりや楽しみ、居場所の提供、就労支援等、様々なサービスを提供しサポートを行っています。庄内コラボセンターでも毎週無料相談を行っていますので、お気軽にご相談ください。

気軽に相談を

庄内障害者相談支援センター

出張相談：毎週(火)10:00～15:00 ショコラ3Fにて、相談無料、秘密厳守
ご本人、ご家族、地域の方、関係機関の方など、どなたでも相談可能

ほっと一息

就労移行支援

カフェ営業：毎週(火)10:00～14:00 ショコラ1Fカフェスペース



公益社団法人 アムネスティ・インターナショナル日本

第10グループ(北摂グループ)

団体HP



アムネスティ・インターナショナルは1961年発足の世界最大の人権NGOです。アムネスティ日本は1970年4月に創設されました。人権を守る活動が認められ1977年ノーベル平和賞を受賞。第10グループは日本支部立ち上がりと同時期、10番目のグループとして活動を始めました。「良心の囚人」(暴力を用いていないのに、信念や信仰、人種、発言内容、あるいは性的指向を理由として囚われている人びと)の釈放や、人権侵害を受けている人たちの釈放を支援し、世界中の政府や機関宛に、はがきを書きます。12月は人権デーに合わせて、署名を行い切手を貼って郵送します。また、日本政府に対して命を脅かす強制送還や難民、差別的な扱いを受けている移民の暮らしを守るために制度の改善を求める活動も行っています。命を守り、自由を守り、笑顔を守る、人権が守られる社会をつくるために一緒に活動しませんか？

＼みんなズ／ レポート！

豊中市内で市民活動やボランティア活動に取り組む市民の方に、リレー形式でインタビューする企画です。
どんな思いで活動に参加されているのかを伺いました。



大阪大学人間科学部2年
徳島市 津田新浜地区自主防災会連絡協議会
青少年部 部長
戎井 光来(えびすい みらい)さん
(写真右側)

出身地である徳島市の沿岸部、津田新浜地区を拠点にしつつ、大阪にも活動の輪を広めながら地域防災・防災教育活動に取り組んでいます。小学生の時、地震の本を読み怖さを感じていました。その後、進学先が全国有数の防災教育先進校で「津田中学校防災学習倶楽部」に入学し活動を開始、卒業後も顧問の先生からバトンをつなぎ、自主防災会連絡協議会と連携し、青少年部を立ち上げました。防災フェスタの企画・運営、小中学生向けに防災1dayキャンプや、街歩き、防災意識アンケート等を実施しています。活動を通して、さまざまな人とのご縁と体験・知見・視点を得ることができました。防災は堅苦しく難しそうというイメージを持たれる方も多いと思います。しかし、防災で必要なのは大切な人・街を守りたいという思いだけで、気軽に、楽しく取り組める形もあると思っています。まずはご家庭の防災から、自分のできる範囲で取り組んでいただければと思います。

トヨカツ

事業紹介



NPO法人アンジュによる簡易トイレ設置のデモンストレーション

防災について考えよう」展示・イベントを開催しました！

～防災について、改めて考えてみませんか～

9月1日は防災の日、阪神大震災から30年。1階ショコラギャラリーにて、阪神・東日本・能登大震災の写真や避難時の資料、非常用トイレ等の防災備品の展示、避難時の備えのイベントが開催されました。

防災士による防災リュックの持参品や置き場所、備えリストの作成、ネットで見られる「重ねるハザードマップ」の紹介などの講座が行われました。1週間分の備蓄、食品は普段から食している物を多めに少し良い物をと避難生活のストレス軽減を学びました。30年前の阪神大震災の当時、20歳で成人式を終えて、地震発生の前夜に四国の下宿先に帰り翌朝の大きな地震でした。日本の建物の耐震は大丈夫と言われていましたが、神戸市が瓦礫の山だった事を思い出しました。



防災リュックについて学ぶコーナー



避難所運営ゲーム

必ず起こると言われている南海トラフ地震に向けて、防災の備えについて講座を受け、家にある備品が全く足りてない、期限切れがある、置き場所がない等課題がたくさんあることがわかりました。今一度見直しが必要と学びました。

トヨカツレポーター(なほまるなおこ)



※トヨカツレポーターとは…トヨカツイベントをレポートしてくださるボランティアスタッフのことです。